

# 「理不尽事後対応許すな」

## 文科省会議で大川小遺族

学校事故の事後対応などを調査研究する文部科学省の有識者会議(座長▽渡辺正樹・東京学芸大教授)は25日、東日本大震災の津波で子どもを亡くした宮城県石巻市の市立大川小学校と私立日和幼稚園の遺族からヒアリング(聞き取り)した。

同小で次女を亡くした佐藤敏郎さん(52)は「我が子を失い、理不尽な事後対応で遺族は二重にダメージを受け

た。大川小のように原因究明があいまいなまま幕を引く構図が全国的にあるが、繰り返し「はいけない」と訴えた。

大川小では児童74人が避難途中に津波にのまれ犠牲となった。佐藤さんは事故後に石巻市が設置した第三者検証委が遺族の望む形で事実究明をできなかったとして「あれだけの被害があつて、十分な教訓にさえしてもらえ

ていないのは残念で仕方がない」と強調。権限のある委員による検証や、学校側と遺族をつなぐコーディネーターの設置を提案した。

一方、日和幼稚園に通っていた長女が送迎バスで津波にのまれ亡くなった佐藤美香さん(40)は「大災害では事前に訓練したこと以上のことはできない」と話し、行政の指導で避難訓練を充実するよう求めた。

【百武信幸】